

一心太助の天秤棒 ～前の籠には責任を、後の籠には信頼を 肩に担いで売り歩く～



越谷市議員 白川 ひでつぐ
シリーズ/NO 116



Web サイト



Youtube



Twitter



Spotify

駅頭は小さなドラマの連続だ！

初当選以来19年間毎日毎朝続ける東武鉄道の市内6駅での朝、夜の駅立ちは、通算3900日を超え5期目残り半年余りとなりました。私の日々のツイッターのつぶやきから、転載したものを含め、駅前のような市民との出会いや何気ない駅前の風景、市民の日常を通した暮らしへの息遣いをエピソード集としてシリーズでお届けしています。

白川ひでつぐ公式チャンネルの登録者は119名を超えました。これでスマートフォンでのライブ配信をすることが出来ます。登録のご協力に感謝し、更にご登録を引き続きお願いします。

チャンネル登録



半年後に実現したせんげん台駅西口前ロータリーの道路標識



今朝の駅立ちは、通常通り午前5時30分前からせんげん台駅西口で開始。3時間をかけて市政レポートを配布した。

半年前に待機していたタクシー運転手の方から駅入り口にある新入禁止の赤いマークの表示が薄く

なって殆ど見えない。

そのため、車が誤って一方通行を侵入してくるので危険なので改善して欲しいとの陳情を受けていた。直ぐに市役所の道路総務課に現状



の調査と対処をお願いしていた。

その後状況を聞きにいったのだが、調査したが道路の破損がひどく少し待つて欲しいとの返事だった。それから半年も過ぎたので、再び対応をお願いしたら、すでに業者に発注したとの事

で、タクシープールの目印も更新して頂き、何とか安全性が確保出来てホットした朝となった。
(10月5日・水曜日)

福田晃越谷市長と囲炉裏を 囲んでスペシャル対談

昨年10月の越谷市長選挙から、丸一年が過ぎたので、新人で初当選された福田晃市長に相当無理を申し上げて、ゆっくりと私と歓談する機会を設けて頂いた。

越谷市外の囲炉裏が常設されている民家をお借りして、市長選挙のハラハラドキドキ感や不測の事態が続いているコロナ対策や市長公約の取り組みなど多岐に渡りお話し頂いた。

私のYouTubeチャンネルは様々なシリーズを配信しているが、新シリーズ「白川ひでつぐスペシャル対談」を企画し、その第一弾として福田市長の登場となった。

木炭の火起こしから始めて、炭火で焼いた肉やソーセージ、ヤマメ、カボチャ等を焼きながらゆったりとした時間が流れて行く。

最後のデザートにはアイスクリーム添えのアルミ箔で包み焼きしたサツマイモを。炉の真ん中のある吊るし棒にかけられた鉄瓶でチンチンと沸かしたお湯を注いだコーヒーを手にした。こんなもてなしをしながらの楽しい時間となったが、市長もワインや新潟産の日本酒で喉を癒しながら語って貰った。

また、撮影のため重い器材運びから活躍してくれたチーム白川の3人の女性も撮影後は皆でこの時間と空間を楽しんだ。

次回からのスペシャル対談は、小川淳也衆議院議員や大野元裕埼玉県知事を予定している。

<https://www.youtube.com/watch?v=gmplZPdtA50&t=47s> (当日の対談・約1時間)

(10月9日・土曜日) 裏へ

非課税世帯の給付金を知らせる YouTubeチャンネルの再生回数が2964回

今朝の駅立ちはせんげん台駅西口で、午前5時20分から開始した。

午前6時30分過ぎに馴染みの30代のサラリーマンの方から、笑顔で市政レポートを受け取った後に、「白川さん、ユーチューブ楽しみにみてますよ、」と声が掛けられた。

最近私のYouTubeチャンネルをご視聴頂いている市民の反応が少しずつ分かるようになってきている。中には先般のせんげん台駅東口で出会った旧知の市民の方からも「毎日、毎日配信しているんですね、駅頭も毎日でユーチューブも毎日すごいですね」とも。

こんな反応に少しだけ気分が高揚していた午前7時30分頃、またまた真っすぐに私に向かって来る30代の男性が例によってスマホを凝視しながらぶつかって来た。

何時も直前で私が避けるのだが、ほんの私の位置から20cm横を通り過ぎれば支障なく通過出来る。何故そうしないのか。

何とか声を掛けて、何故直進してくるのか尋ねようと試みるのだが、足早にわき目も振らず階段を登って行かれるので未だに実現していない。体を張って静止するわけにもいかない。

この日は、越谷市の非課税世帯に対して一世帯当たり5万円の支援金の支給を専決処分したとの説明が担当部長からあった。

ロシアのウクライナへの軍事進行の影響もあって電気、ガス代が高騰しており低所得世帯への影響が大きく市内3700世帯を対象に11月21日以降から受付を始めるものだ。

ただ、本来ならば4億円近い歳出となるため市長は議会への提案、説明そして議決が必要とされるが、緊急事態に対応する場合は、市長が独自に判断、決定する権限が付与されている。

ただ後日議会には報告し承認を取らなければならぬ様に規定されている。

このことを、ほぼ毎日配信しているTwitterの声での発信機能であるスペースやYouTubeとポットキャストに配信したところ何と再生回数が、2964回と過去最高となった。

一早い情報発信とタイムリーなテーマだった事で関心が高かったのでは、としか推測出来ないのだが、本当にビックリしている。

<https://www.youtube.com/watch?v=dXSvm-JnVL4>

(10月11日・火曜日)

来年4月の市議選挙に向け、公選法の勉強会・出前講座を開催

本日午後6時から8時まで、来年の市議員選挙に向けて、公職選挙法の勉強会を春日部市民活動センターで開催した。

越谷市が主催している市民へのお出前講座として選挙管理委員会から説明して頂いた。

会場には、来年市議選に立候補予定の市民を始め選挙応援を志向している市民が熱心に受講した。

正式な立候補予定者への説明会は、年明けの2月に4時間ほどの会が開かれるのが通例となっているが、出来るだけ早くに立候補届の書式や選挙準備活動等の内容を取得しておく方がいいと判断したためだ。

特に、新人での立候補の場合、公選法上何をやっても大丈夫なのか、何をやってはいけないのかの判断がつかず、その上様々な市民の応援を受けながら最も果敢に選挙の先頭に立たなければならず、準備は出来るだけ早くする事に越したことはない判断して開催を準備して来た。勿論、私はすでに10回もの選挙を闘っているので凡運動の理解は出来てはいるのだが、それでもネット選挙の手法や制限は大きく変化しているため、勉強になった。

勉強会は、選挙制度について、その①立候補届②選挙運動③選挙公営の3点にわたり3人の職員から丁寧に説明を受けた。

そのため、参加した市民からの質問が絶えず予定していた時間をオーバーしてしまうほどだった。

(10月22日・土曜日)

議員の学校「若者の声が生きる自治体をつくる」を受講

今朝の駅立ちは、新越谷駅西口で午前6時から午前8時30分過ぎまで市政レポートを配布した。だんだんと寒さで体が冷え込む季節となっており、手袋が必須アイテムとなって来た。

この日は、午後1時から5時まで日野市で開催された第47回議員の学校「若者の声が生きる自治体をつくる」をテーマにNPO法人多摩自治研究所が主催してのセミナーとなった。

電車を乗り継いで会場での受講となったが、中学校の教科書にも掲載されている遊佐町の若者の話には興味が引かれた。

(10月24日・月曜日)